

Ⅲ

諸資格の取得

1 教育職員免許状

本学で教育職員免許状を取得するには、修了に必要な単位を修得するほか、教育職員免許関係法令（「教育職員免許法」、「同法施行規則」、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」）が定めるそれぞれの免許状取得に必要な科目の単位を併せて修得する必要があります。

既に一種免許状を取得している者（一種免許状の取得要件を満たしている者を含む）が専修免許状の取得を目指すにあたって、教職課程登録など入学時に行う手続は特にありません。認定科目の履修を各自で進めていき、2年次（博士前期課程の修了年次）7月には教員免許状一括申請手続を忘れず行うよう留意してください。

なお、一種免許状を取得していない者（取得要件を満たしていない者）が新たに教員免許状取得を希望する場合は、学部開設科目を履修し、最新の関係法令に沿って一種免許状の取得要件を満たす必要があります。この場合、学部入学年度及び卒業後の経歴によって、必要単位及び取得要件が異なります。また、大学院生は、学部開設科目を履修できませんので、別途、科目等履修生の入学手続が必要となります。ついては、単位修得方法や履修手続等の詳細について、入学後、直ちに学務課教務担当にお問い合わせください。

Ⅰ. 専攻別取得可能な免許状の種類及び教科

（専修免許状）

既に一種免許状を取得している者（一種免許状の取得要件を満たしている者を含む）が、大学院博士前期課程で取得できる免許状です。

	専 攻	免許状の種類及び教科			
		中学校専修	高等学校専修	その他の免許状の種類	
人間文化創成科学研究科博士前期課程	比較社会文化学専攻	国 語	国 語		
		英 語	英 語		
		社 会	地理歴史		
		保健体育	保健体育		
		音 楽	音 楽		
		家 庭	家 庭		
	人間発達科学専攻	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、フランス語、中国語、宗教	国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、商船、職業指導、英語、フランス語、中国語、宗教	幼稚園専修	小学校専修
	ジェンダー社会科学専攻	社 会	地理歴史 公 民		
		家 庭	家 庭		
	ライフサイエンス専攻	家 庭	家 庭		
		理 科	理 科		
	理学専攻	理 科	理 科		
		数 学	数 学		
			情 報		

II. 大学院学生が学士課程で開設された教職科目を履修する際の注意事項

現行教育職員免許法では、「学士課程において一種免許状を取得した者が、大学院博士前期課程において教職または教科に関する知識をさらに深化させることにより専修免許状を取得する」ことを想定した免許構造となっています。

この法令上の原則に基づき、大学院学生の科目等履修生資格による学士課程で開設される教職課程の履修にあたっては、以下を指導の原則とします。

1. 大学院での学修の目的は研究にあります。本学で大学院に在籍しながら、教員免許状取得のために学士課程で開設されている教職科目を履修することが認められているのは、大学院学生のキャリア支援に資するための特別な措置であることに留意してください。
2. 研究を本旨とする大学院段階の学修を妨げないために、大学院学生が学士課程で開設される教職科目を履修するケースとして主に想定されているのは、①学士課程段階で単位を取得し残した教職科目を補充する場合と、②すでに何らかの校種の教員免許状を有する大学院学生が、別の校種や教科の教員免許状の取得を希望する場合です。
3. 大学院段階から新規に教員免許状の取得を希望する大学院学生については、学士課程段階の教職科目の履修が大学院での研究活動を圧迫することがないように、教職課程専門部会と教育実習専門部会が履修状況を把握して指導を行うことがあります。指導教員と話し合い、大学院での研究を妨げることがないように、あらかじめしっかりと履修計画を立ててください。
4. 大学院段階での学士課程の教職科目の履修に際しては、学士課程に在籍する教職科目履修者と同様の科目履修順序及び履修手続に従ってもらいます。

教職課程専門部会

III. 免許状取得に必要な単位

教育職員免許状の種類		基礎資格	教育職員免許法に定められた単位数					合計単位数
			教科及び教科の指導法に関する科目 (幼稚園教諭)領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	
幼稚園教諭	専修	修士の学位を有すること。	16	10	4	7	38	75
	一種	学士の学位を有すること。	16	10	4	7	14	51
小学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	30	10	10	7	26	83
	一種	学士の学位を有すること。	30	10	10	7	2	59
中学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	28	10	10	7	28	83
	一種	学士の学位を有すること。	28	10	10	7	4	59
高等学校教諭	専修	修士の学位を有すること。	24	10	8	5	36	83
	一種	学士の学位を有すること。	24	10	8	5	12	59

既に一種免許状を取得している者（取得要件を満たしている者も含む）が、同校種・同教科の専修免許状を取得するためには、次々頁以降の認定科目を24単位以上修得する必要があります。

24単位とは、「大学が独自に設定する科目」区分における一種免許状と専修免許状の必要単位数の差分にあたります。

単位互換制度により、他大学大学院の授業科目を履修して修得した単位は、本学の専修免許状を取得するための単位に使用することはできません。

Ⅳ. 教員免許状の授与

教員免許状は、取得要件を満たした者が居住する都道府県教育委員会等に申請することで、授与されます。

ただし、本学の所在する東京都では免許状を申請する学生が特段に多いので、所属する大学で申請希望者をまとめて教育委員会に申請する大学一括申請を行っています。教員免許状の取得を希望する学生は単位の取得漏れがないようによく確認し、手続をしてください。

なお、教員免許状は罹災・盗難以外では再発行されませんので、授与された免許状は厳重に保管してください。

i. 大学一括申請

まず2年次（博士前期課程の修了年次）の7月頃に一括申請の申込手続を行います。時期になりましたら、OchaMail、学生ポータルサイト、学内掲示板で周知しますので忘れず手続してください。この時に、学務システムでの登録と書類提出が必要です。

次に、11～12月頃に、免許状申請手続を行います。この時に、宣誓書の署名及び申請手数料（免許状申請件数に応じて¥3,300～¥9,900程度）の振込が必要です。

以上2回の手続を行った上で、取得要件を満たした場合は、学位記授与式当日に教員免許状をお渡しします。

なお、手続方法や申請手数料等は、東京都教育委員会の規則改正等で変更になることがあります。その場合、掲示等で連絡しますので、ご注意ください。

ii. 個人申請

2年次に一括申請手続を取らなかった者は、修了後に個人で教育委員会等に申請することになります。修了時に必要単位を漏れなく修得していれば、修了後いつでも申請できます。ただし、申請から授与までは1か月以上かかることが多く、特に年度末は申請が集中するため4月からの採用に支障が生じることがあります。教員採用が決定している場合等は、在学中に一括申請で免許状を取得してください。

なお、個人申請の場合は、主に居住する都道府県教育委員会等に申請することになりますが、都道府県ごとに手続が異なります。各自で都道府県庁の担当部局に確認してください。

Ⅴ. その他

以下の要件を満たした場合に 日本学生支援機構から大学院博士前期課程在籍時に貸与を受けた第一種奨学金の返還免除を申請できます（教員になった者に対する奨学金の返還免除制度）。対象の奨学金および返還免除制度の詳細については、学生・キャリア支援課に必ずご確認ください。なお（2）の要件を満たすためには「教職インターンシップ（幼小または中高）」の単位の修得が必要となります。

○申請の要件

次の（1）、（2）の双方を満たす人のうち、教員採用選考試験に合格、大学院修了の翌年度から正規教員として採用される予定の人

- （1） 大学院において、教職課程を履修し専修免許状を取得していること（採用選考等にあたり特別免許状の授与を受ける場合も含む）
- （2） 大学院において、学校等での実習を必須とする科目（教職課程認定を受けているものに限る。）を1単位以上取得し、学校等での実習の実時間を概ね30時間以上経験していること。

VI. 専修免許状取得のための認定授業科目及び単位

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	国語
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
国 語 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	日本語史特論	2
		日本語史演習	2
		日本語資料論特論	2
		日本語資料論演習	2
		現代日本語学特論	2
		現代日本語学演習	2
		日本言語表現論特論	2
		日本言語表現論演習	2
		日本言語文化特論	2
		日本中古文学特論	2
		日本中古文学演習	2
		日本中古文学表現史論	2
		日本中古文学表現史論演習	2
		日本中世文学特論	2
		日本中世文学演習	2
		日本中世文学表現史論	2
		日本中世文学表現史論演習	2
		日本近世文学特論	2
		日本近世文学演習	2
		日本近世出版文化特論	2
		日本近世出版文化演習	2
		日本近代文学特論	2
		日本近代文学演習	2
		日本近代メディア研究特論	2
		日本近代メディア研究演習	2
		日本現代文学特論	2
		日本現代文学演習	2
		日本近現代詩歌論特論	2
		日本近現代文学構造分析論演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

III

諸資格の取得

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	英語
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
英語 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	英文学特論（批評研究）	2
		英文学演習（作家研究）	2
		英語圏言語文化特論	2
		英語圏言語文化演習	2
		英語圏文学表象論	2
		英語圏文学表象論演習	2
		英文学特論（ジャンル研究）	2
		英文学演習（歴史表象研究）	2
		英語圏テキスト文化論	2
		英語圏テキスト文化論演習	2
		米文学特論（批評研究）	2
		米文学演習（作家研究）	2
		米文学特論（表象研究）	2
		米文学演習（作品研究）	2
		英語圏文学・文化特論	2
		英語圏文学・文化演習	2
		英語学特論（文法論）	2
		英語学演習（形態論）	2
		英語学特論（統語論）	2
		英語学演習（統語論）	2
		英語学特論（語用論）	2
		英語学演習（語用論）	2
		英語学特論（意味論）	2
		英語学演習（意味論）	2
		英語学特論（第一言語習得）	2
		英語学演習（第一言語習得）	2
		対照言語分析特論	2
		対照言語分析演習	2
		英語教育方法論研究	2
		英語教育方法論演習	2
		第二言語習得論研究	2
		第二言語習得論演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

免許状の種類	中学校教諭専修免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
社会 (計24単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	哲学特論 (基礎)	2
		哲学特論 (応用)	2
		哲学原論 (基礎)	2
		哲学原論 (応用)	2
		哲学演習 (基礎)	2
		哲学演習 (応用)	2
		形而上学特論	2
		言語哲学演習 (基礎)	2
		言語哲学演習 (応用)	2
		認識論特論	2
		科学哲学演習 (基礎)	2
		科学哲学演習 (応用)	2
		倫理思想史特論 (理論)	2
		倫理思想史特論 (応用)	2
		倫理学資料演習 (理論)	2
		倫理学資料演習 (応用)	2
		思想文化学研究法	2
		アジア政治文化特論	2
		アジア政治文化演習	2
		アジア社会文化特論	2
		アジア社会文化演習	2
		比較アジア社会文化特論	2
		比較アジア社会文化演習	2
		比較アジア政治文化論	2
		比較アジア政治文化演習	2
		日本社会史特論	2
		日本社会史料特論	2
		日本社会史演習	2
		日本社会史料演習	2
		歴史史料論	2
		比較歴史史料学	2
		歴史史料論演習	2
		比較歴史史料学演習	2
		日本政治経済史特論	2
		日本政治経済史料特論	2
		日本政治経済史演習	2
		日本政治経済史料演習	2
		日本文化史特論	2
		日本文化史料特論	2
		日本文化史演習	2
		日本文化史料演習	2
		西洋近世史特論	2
		西洋近世史料特論	2
		西洋近世史演習	2
		西洋近世史料演習	2
		西洋近現代史特論	2
		西洋近現代史料特論	2
		西洋近現代史演習	2
		西洋近現代史料演習	2
		西洋美術史理論特論 (近代)	2
		西洋美術史理論特論 (現代)	2
		西洋美術史特論 (近代)	2
		西洋美術史特論 (現代)	2
		西洋美術史理論演習 (近代)	2
		西洋美術史理論演習 (現代)	2
		西洋美術史演習 (近代)	2
		西洋美術史演習 (現代)	2
		東洋美術史特論 (基礎)	2
		東洋美術史特論 (応用)	2
		日本美術史特論 (基礎)	2
		日本美術史特論 (応用)	2
		東洋美術史演習 (基礎)	2
		東洋美術史演習 (応用)	2
		日本美術史演習 (基礎)	2
		日本美術史演習 (応用)	2
		歴史文化学基礎論	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ (中高)	1

※「特別研究」についてはP.97以降を確認すること。

Ⅲ

諸資格の取得

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	地理歴史
--------	-------------	------	------

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
地理歴史 (計24単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	アジア政治文化特論	2
		アジア政治文化演習	2
		アジア社会文化特論	2
		アジア社会文化演習	2
		比較アジア社会文化特論	2
		比較アジア社会文化演習	2
		比較アジア政治文化論	2
		比較アジア政治文化演習	2
		日本社会史特論	2
		日本社会史料特論	2
		日本社会史演習	2
		日本社会史料演習	2
		歴史史料論	2
		比較歴史史料学	2
		歴史史料論演習	2
		比較歴史史料学演習	2
		日本政治経済史特論	2
		日本政治経済史料特論	2
		日本政治経済史演習	2
		日本政治経済史料演習	2
		日本文化史特論	2
		日本文化史料特論	2
		日本文化史演習	2
		日本文化史料演習	2
		西洋近世史特論	2
		西洋近世史料特論	2
		西洋近世史演習	2
		西洋近世史料演習	2
		西洋近現代史特論	2
		西洋近現代史料特論	2
		西洋近現代史演習	2
		西洋近現代史料演習	2
		西洋美術史理論特論(近代)	2
		西洋美術史理論特論(現代)	2
		西洋美術史特論(近代)	2
		西洋美術史特論(現代)	2
		西洋美術史理論演習(近代)	2
		西洋美術史理論演習(現代)	2
		西洋美術史演習(近代)	2
		西洋美術史演習(現代)	2
		東洋美術史特論(基礎)	2
		東洋美術史特論(応用)	2
		日本美術史特論(基礎)	2
		日本美術史特論(応用)	2
		東洋美術史演習(基礎)	2
		東洋美術史演習(応用)	2
		日本美術史演習(基礎)	2
		日本美術史演習(応用)	2
		歴史文化学基礎論	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ(中高)	1

※「特別研究」についてはP.97以降を確認すること。

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	保健体育
--------	-----------------	------	------

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
保健体育 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	舞踊表現学特論	2
		舞踊表現学演習	2
		舞踊芸術学特論	2
		舞踊方法論演習	2
		民族舞踊学特論	2
		民族舞踊方法論演習	2
		現代スポーツ論特論	2
		スポーツマネジメント特論	2
		スポーツマネジメント演習	2
		表現行動科学特論	2
		表現行動科学実験演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ(中高)	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

Ⅲ

諸資格の取得

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	音楽
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
音楽 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	ピアノ演奏学特論（近代）	2
		ピアノ演奏学特論（現代）	2
		ピアノ演奏学演習	2
		ピアノ表現方法論	2
		ピアノ表現方法論演習	2
		ピアノ表現演習	2
		声楽演奏学特論	2
		声楽演奏学演習	2
		声楽表現方法論	2
		声楽表現方法論演習	2
		声楽表現演習	2
		音楽表象文化特論	2
		音楽表象文化演習	2
		音楽学特論	2
		音楽学演習	2
		音楽研究方法論	2
		音楽文献資料論	2
		音楽研究方法論演習	2
		音楽文献資料論演習	2
		音楽学特別演習（基礎）	2
		音楽学特別演習（応用）	2
		音楽文化学特別演習（基礎）	2
		音楽文化学特別演習（応用）	2
		音楽史研究	2
		音楽史研究演習	2
		音楽文化史研究	2
		音楽文化史研究演習	2
		音楽文化演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」についてはP.97以降を確認すること。

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

比較社会文化学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設定する科目		
家庭 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	日本服飾文化論	2
		日本服飾文化論特論	2
		日本服飾文化論演習	2
		西洋服飾文化論	2
		西洋服飾文化論特論	2
		西洋服飾文化論演習	2
		民俗文化論特論	2
		民俗文化論研究	2
		民俗文化論演習	2
		比較文化特論	2
		生活造形特論	2
		生活芸術論演習	2
		生活文化特論演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ(中高)	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

Ⅲ

諸資格の取得

免許状の種類	小学校教諭専修免許状 幼稚園教諭専修免許状	中学校教諭専修免許状 高等学校教諭専修免許状
--------	--------------------------	---------------------------

人間発達科学専攻

科目区分	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解 に関する科目	教育思想特論	2	
	公教育研究特論	2	
	教育思想演習	2	
	公教育研究演習	2	
	近代教育史	2	
	現代教育史	2	
	教育史演習（近代）	2	
	教育史演習（現代）	2	
	教育社会学	2	
	学校社会学	2	
	教育社会学演習	2	
	学校社会学演習	2	
	カリキュラム研究論	2	
	カリキュラム研究論演習	2	
	教育心理学（理論）	2	
	教育心理学（実践論）	2	
	発達心理学（理論）	2	
	発達心理学（実践論）	2	
	特別支援教育特論	2	
	特別支援教育演習	2	
	障害児教育特論	2	
	障害児教育演習	2	
	教育科学研究方法論	2	
	認知システム論	2	
	認知システム論演習	2	
	認知科学基礎論	2	
	認知科学基礎論演習	2	
	社会心理学特論（理論）	2	
	社会心理学特論（応用）	2	
	社会心理学先端研究（理論）	2	
	社会心理学先端研究（応用）	2	
	発達心理学特論	2	
	発達心理学演習	2	
	認知発達論特論	2	
	認知発達論演習	2	
	健康心理学特論	2	
	健康心理学演習	2	
	臨床心理科学特論	2	
	臨床心理科学演習	2	
	教育心理学基礎論	2	
	教育心理学基礎論演習	2	
	人格発達論	2	
	人格発達演習	2	
	発達臨床心理学特論	2	
	学習デザイン論特論	2	
	学習デザイン論演習	2	
	保育制度論特論	2	
	保育制度論演習	2	
	子ども発達論特論	2	
	子ども発達論演習	2	
	子ども学研究調査方法論特論	2	
	子ども学研究調査方法論演習	2	
	子どもサステイナビリティ特論	2	
	子どもサステイナビリティ演習	2	
	人間発達科学論	2	
	特別研究	8	※ 1

科目区分	授業科目	単位数	備考
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法学（理論）	2	
	教育方法学（応用）	2	
	教育開発論特論（理論）	2	
	教育開発論特論（実践論）	2	
	教育開発論演習（理論）	2	
	教育開発論演習（実践論）	2	
	臨床心理学特論Ⅰ	2	
	臨床心理学特論Ⅱ	2	
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	
	臨床心理査定演習Ⅱ	2	
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1	
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1	
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	1	
	臨床心理実習Ⅱ	1	
	臨床心理学研究法	2	
	障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	
	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	
	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	
	心の健康教育（心の健康教育に関する理論と実践）	2	
	認知・行動心理学特論	2	
教育実践に関する科目	教職インターンシップ（幼小）	1 ※ 2	
	教職インターンシップ（中高）	1 ※ 2	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育臨床学特論	2	幼稚園教諭専修免許状のみ
	保育臨床学演習	2	
	保育実践論特論	2	
	保育実践論演習	2	
	保育学特論	2	
	保育学演習	2	
	子ども環境論特論	2	
	子ども環境論演習	2	
	幼児教育学特論	2	
	幼児教育学演習	2	
	保育・児童学研究方法論	2	

※ 1 「特別研究」は指導教員の専門によって区分が異なる。
P.97 以降を確認すること。

※ 2 幼稚園、小学校教諭専修免許状は（幼小）を選択
中学校、高等学校教諭専修免許状は（中高）を選択

免許状の種類	中学校教諭専修免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

人間発達科学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
社会 (計24単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	社会集団論	2
		社会集団論応用演習	2
		社会意識論	2
		社会意識論特論	2
		社会意識論基礎演習	2
		社会意識論応用演習	2
		社会福祉論	2
		社会福祉論演習	2
		社会政策論	2
		社会政策論演習	2
		社会学基礎論	2
		家族社会学	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	公民
--------	-------------	------	----

人間発達科学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
公民 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	社会集団論	2
		社会集団論応用演習	2
		社会意識論	2
		社会意識論特論	2
		社会意識論基礎演習	2
		社会意識論応用演習	2
		社会福祉論	2
		社会福祉論演習	2
		社会政策論	2
		社会政策論演習	2
		社会学基礎論	2
		家族社会学	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ(中高)	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

Ⅲ

諸資格の取得

免許状の種類	中学校教諭専修免許状	免許教科	社会
--------	------------	------	----

ジェンダー社会科学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
社会 （計24単位以上）	教科及び教科の指導法に関する科目	自然地理学特論	2
		地理教育特論	2
		都市地理学特論	2
		都市地理学特論演習	2
		グローバル政治経済論	2
		地理情報論	2
		地理情報論演習	2
		社会地理学特論	2
		社会地理学特論演習	2
		開発地域文化論	2
		開発地域文化論演習	2
		ジェンダー社会経済学	2
		ジェンダー社会経済学演習	2
		開発研究実践論	2
		開発研究実践論演習	2
		フェミニズム理論の争点	2
		フェミニズム理論の争点・演習	2
		ジェンダー立法過程論	2
		国際社会ジェンダー論	2
		ジェンダー基礎論	2
		ガバナンスとジェンダー	2
		現代政治経済論	2
		現代政治経済論演習	2
		比較政治経済論	2
		比較政治経済論演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	地理歴史
--------	-------------	------	------

ジェンダー社会科学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
地理歴史 (計24単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	自然地理学特論	2
		地理教育特論	2
		都市地理学特論	2
		都市地理学特論演習	2
		地理情報論	2
		地理情報論演習	2
		社会地理学特論	2
		社会地理学特論演習	2
		開発地域文化論	2
		開発地域文化論演習	2
		開発研究実践論	2
		開発研究実践論演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ(中高)	1

※「特別研究」についてはP.97以降を確認すること。

Ⅲ

諸資格の取得

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	公民
--------	-------------	------	----

ジェンダー社会科学専攻

科目区分		本 学 認 定 授 業 科 目 及 び 単 位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
公 民 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	グローバル政治経済論	2
		ジェンダー社会経済学	2
		ジェンダー社会経済学演習	2
		フェミニズム理論の争点	2
		フェミニズム理論の争点・演習	2
		ジェンダー立法過程論	2
		ガバナンスとジェンダー	2
		国際社会ジェンダー論	2
		ジェンダー基礎論	2
		現代政治経済論	2
		現代政治経済論演習	2
		比較政治経済論	2
		比較政治経済論演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

ジェンダー社会科学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
家庭 (計24単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	家族関係論	2
		家族関係学演習	2
		消費者問題論	2
		消費者問題演習	2
		生活福祉論	2
		生活福祉論演習	2
		生活法社会論	2
		生活法社会論演習	2
		生活政治論	2
		生活政治論演習	2
		生活経済論	2
		生活経済論演習	2
		法女性論	2
		法女性論演習	2
		労働経済論演習	2
		社会保障とジェンダー	2
		ジェンダー統計論演習	2
		特別研究	8 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ(中高)	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

Ⅲ

諸資格の取得

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	理科
--------	-----------------	------	----

ライフサイエンス専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
理科 (計24単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	分子細胞生物学（動物）	2
		分子細胞生物学（動物）演習	2
		分子進化学	2
		集団遺伝学	2
		集団遺伝学演習	2
		環境発生進化学	2
		環境発生進化学演習	2
		動物生理学特論	2
		植物系統進化学	2
		植物系統進化学演習	2
		植物保全生態学	2
		植物保全生態学演習	2
		生命情報学特論	2
		生命情報学演習	2
		分子発生学	2
		分子発生学演習	2
		発生生物学特論	2
		発生生物学演習	2
		進化発生学特論	2
		進化発生学演習	2
		バイオメカニクス特論	2
		細胞生理学	2
		細胞生理学演習	2
		植物関連生理学	2
		植物関連生理学演習	2
		植物細胞生物学	2
		植物細胞生物学演習	2
		海洋生物学特論	2
		公開臨海実習	2
		形態発現特論	2
		形態発現演習	2
		生命科学演習	4
		医療概論	2
		臨床医学特論	2
		生殖発生遺伝学特論	2
		人類遺伝学特論	2
		遺伝学実習	2
		遺伝医学	2
		特別研究	10 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	家庭
--------	-----------------	------	----

ライフサイエンス専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
家庭 (計24単位以上)	教科及び教科の指導法に関する科目	食品加工貯蔵学特論	2
		食品加工貯蔵学演習	2
		調理科学特論	2
		調理科学演習	2
		食品機能学特論	2
		食品機能・分析化学演習	2
		栄養化学特論	2
		栄養化学演習	2
		臨床栄養学特論	2
		臨床栄養学演習	2
		国際栄養学特論	2
		公衆栄養学演習	2
		生体制御学特論	2
		生体制御学演習	2
		栄養教育学特論	2
		栄養教育学演習	2
		生活習慣病医学・疫学	2
		生活習慣病医学・疫学演習	2
		フードサービスマネジメント特論	2
		フードサービスマネジメント演習	2
		健康医学特論	2
		食品栄養科学研究法	2
		特別研究	10 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ(中高)	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	数学
--------	-----------------	------	----

理学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
数 学 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	確率解析特論	2
		確率解析演習	2
		確率過程特論	2
		幾何構造特論	2
		微分幾何学特論	2
		微分幾何学演習	2
		群論特論	2
		群論演習	2
		整数論特論	2
		関数方程式特論	2
		関数方程式演習	2
		多様体構造特論	2
		多様体構造演習	2
		実解析特論	2
		応用代数学特論	2
		代数構造特論	2
		代数構造演習	2
		位相構造特論	2
		位相構造演習	2
		大域幾何学特論	2
		結び目と素数特論	2
		結び目と素数演習	2
		ガロワ理論特論	2
		3次元多様体特論	2
		複素解析学特論	2
		複素解析学演習	2
		複素多様体特論	2
		代数幾何学特論Ⅰ	1
		代数幾何学特論Ⅱ	1
		代数幾何学演習	2
		関数解析特論	2
		関数解析演習	2
		代数学特別講義（基礎）	1
		解析学特別講義（基礎）	1
		代数学特別講義（発展）	1
		解析学特別講義（発展）	1
		現代数学（幾何）	1
		数学教材開発法研究（基礎）	1
		数学基礎演習	2
		数理基礎演習	2
		数理科学特論	2
		数理科学演習	2
		非線形数理特論	2
		非線形数理演習	2
		数値解析特論	2
		数値解析演習	2
		情報構造特論	2
		情報構造演習	2
		数理情報学特論	2
		数理情報学演習	2
		数理気象学特論	2
		数理気象学演習	2
		気象情報解析特論	2
		気象情報解析演習	2
		量子コンピューティング特論	2
		量子コンピューティング演習	2
		抽象数学特論	2
		抽象数学演習	2
		プログラミング言語保証特論	2
		プログラミング言語保証演習	2
		情報科学基礎演習	2 ※
		特別研究	12 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」「情報科学基礎演習」については指導教員の専門によって教科が異なる。P.97以降を確認すること。

免許状の種類	中学校・高等学校教諭専修免許状	免許教科	理科
--------	-----------------	------	----

理学専攻

科目区分		本学認定授業科目及び単位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
理 科 (計 24 単 位 以 上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	統計力学特論	2
		量子物理学特論	2
		量子物理学演習	2
		素粒子特論	2
		場の理論特論	2
		場の理論演習	2
		宇宙物理学特論	2
		相転移特論	2
		天体物理学特論	2
		天体物理学演習	2
		表面物理特論	2
		物性物理学演習	2
		数理物理学特論	2
		非線形物理学特論	2
		非線形物理学演習	2
		ソフトマター物理学特論	2
		ソフトマター物理学演習	2
		凝縮系物理学特論	2
		強相関電子特論	2
		強相関電子演習	2
		磁性体特論	2
		磁性体演習	2
		現象論的素粒子論	2
		高エネルギー物理学特論	2
		高エネルギー物理学演習	2
		スピン物性特論	2
		スピン物性演習	2
		幾何学的物性物理学特論	2
		凝縮系における場の理論特論	2
		遺伝情報化学特論	2
		遺伝情報化学演習	2
		バイオイメージング特論	2
		有機材料化学	2
		有機反応化学	2
		有機反応化学演習	2
		糖鎖科学	2
		糖鎖科学演習	2
		ケミカルバイオロジー特論	2
		生体機能分子化学	2
		生体機能分子化学演習	2
		生体分子間相互作用特論	2
		分子量子化学特論	2
		分子分光化学特論	2
		分子分光化学演習	2
		固体化学特論	2
		物性物理化学特論	2
		固体化学演習	2
		反応理論化学特論	2
		物性理論化学特論	2
		物性理論化学演習	2
		物理有機化学	2
		有機典型元素化学特論	2
		有機典型元素化学演習	2
		界面化学特論	2
		界面化学演習	2
		機能性分子化学	2
		超分子化学特論	2
		超分子化学演習	2
		反応化学特論	2
		錯体化学特論	2

Ⅲ

諸資格の取得

科目区分		本 学 認 定 授 業 科 目 及 び 単 位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
(計 24 単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	ホスト・ゲスト化学特論	2
		錯体化学演習	2
		ナノ材料化学特論	2
		電気化学特論	2
		電気化学演習	2
		化学・生物化学演習	2
		特別研究	12 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」については P.97 以降を確認すること。

免許状の種類	高等学校教諭専修免許状	免許教科	情報
--------	-------------	------	----

理学専攻

科目区分		本 学 認 定 授 業 科 目 及 び 単 位	
免許教科	大学が独自に設置する科目		
情報 (計 24 単位以上)	教科及び教科の 指導法に関する科目	計算機言語特論	2
		計算機言語演習	2
		言語意味論	2
		言語意味論演習	2
		言語情報処理特論	2
		言語情報処理演習	2
		言語メディア特論	2
		言語メディア演習	2
		コンピュータネットワーク特論	2
		コンピュータネットワーク演習	2
		分散処理特論	2
		分散処理演習	2
		ビジュアルゼーション特論	2
		ビジュアルゼーション演習	2
		メディアコンピューティング特論	2
		メディアコンピューティング演習	2
		ヒューマンインターフェース特論	2
		ヒューマンインターフェース演習	2
		コンピュータグラフィックス特論	2
		コンピュータグラフィックス演習	2
		バイオインフォマティクス特論	2
		バイオインフォマティクス演習	2
		非従来型計算特論	2
		非従来型計算演習	2
		アルゴリズム論特論	2
		アルゴリズム論演習	2
		計算量理論特論	2
		計算量理論演習	2
		データベース特論	2
		データベース演習	2
		データ工学特論	2
		データ工学演習	2
		シミュレーション科学特論	2
		シミュレーション科学演習	2
		数値流体力学特論	2
		数値流体力学演習	2
		情報科学基礎演習	2 ※
		特別研究	12 ※
	教育実践に関する科目	教職インターンシップ（中高）	1

※「特別研究」「情報科学基礎演習」については指導教員の専門によって教科が異なる。P.97 以降を確認すること。

VII. 「特別研究」等の担当教員

修士論文作成の指導を行う「特別研究」など指導教員を選択して履修する科目は、担当教員（主任指導教員）によって専修免許状申請に使用できる校種・教科が異なるためご注意ください。

なお、次の表は令和8年4月時点での担当教員です。教員人事の関係で今後追加される場合がありますので、自分の指導教員が記載されていないときは、学務課資格担当に問い合わせて最新の情報を確認してください。

専攻	教科	担当教員
比較社会文化学	(中・高) 国語	浅田 徹
		松岡 智之
		谷口 幸代
		竹村 明日香
		藤川 玲満
		石井 久美子
		加藤 夢三
	(中・高) 英語	野口 徹
		山腰 京子
		高桑 晴子
		ALLEN DAVID BRIAN
		丸谷 徳嗣
	(中) 社会	宮下 聡子
		安成 英樹
		神田 由築
		大藪 海
		戸川 貴行
		土谷 真紀
		阿部 尚史
		湯川 文彦
		遠藤 みどり
	(高) 地理歴史	安成 英樹
		神田 由築
		大藪 海
		戸川 貴行
		土谷 真紀
		阿部 尚史
		湯川 文彦
		遠藤 みどり
	(中・高) 保健体育	水村 真由美
		新名 謙二
		中村 美奈子
		岡 千春
	(中・高) 音楽	福本 まあや
		小坂 圭太
	(中・高) 家庭	井上 登喜子
		宮内 貴久
		鈴木 禎宏
		難波 知子
		新實 五穂

専攻	教科	担当教員
人間発達科学	(中) 社会	杉野 勇
	(高) 公民	三宅 雄大
	(幼)	池田 全之
	(小)	坂元 章
	(中) 全教科	浜野 隆
	(高) 全教科	大森 美香
		高橋 哲
		富士原 紀絵
		西 隆太郎
		刑部 育子
		辻谷 真知子
		上原 泉
		石丸 径一郎
		山田 美穂
		今泉 修
		松島 のり子
		大多和 直樹
		伊藤 大幸
		平野 真理
		砂川 芽吹
ジェンダー社会科学		齊藤 彩
		武藤 世良
	(中) 社会	荒木 美奈子
		長谷川 直子
		倉光 ミナ子
		申 琪榮
		大橋 史恵
		CARROLL MYLES
	(高) 地理歴史	荒木 美奈子
		長谷川 直子
		倉光 ミナ子
	(高) 公民	申 琪榮
		大橋 史恵
		CARROLL MYLES
	(中・高) 家庭	小谷 眞男
		大森 正博
		斎藤 悦子
		DE ALCANTARA MARCELO
		西村 純子
		豊福 実紀
		脇田 彩

専攻	教科	担当教員
ライフサイエンス	(中・高) 家庭	森光 康次郎
		赤松 利恵
		飯田 薫子
		須藤 紀子
		市 育代
		新田 陽子
		清水 誠
		小林 正樹
		佐藤 瑤子
		野田 響子
	(中・高) 理科	千葉 和義
		由良 敬
		柴 小菊
		服田 昌之
		清本 正人
		鴫田 智
		三宅 秀彦
		近藤 るみ
		植村 知博
		佐藤 敦子
		岩崎 貴也

専攻	教科	担当教員
理学	(中・高) 理科	古川 はづき
		奥村 剛
		出口 哲生
		小林 功佳
		相川 京子
		近藤 敏啓
		棚谷 綾
		曹 基哲
		北島 佐知子
		矢島 知子
		河野 能知
		藤田 智弘
		宮崎 充彦
		近松 彰
		伊村 くらら
		三宅 亮介
		赤城 裕
		大金 賢司
		桑原 拓也
		左右田 稔
	(中・高) 数学	下川 航也
		竹村 剛一
		萩田 真理子
		横川 光司
		大場 清
		久保 隆徹
		千葉 優作
		戸田 正人
		植木 潤
		篠田 万穂
		戸次 大介
		神山 翼
		工藤 和恵
		ツァン シンイー
		坂田 綾香
		室屋 晃子
	(高) 情報	浅井 健一
		小林 一郎
		小口 正人
		伊藤 貴之
		五十嵐 悠紀
		オベル加藤 ナタナエル
		長尾 篤樹
		桑名 杏奈

2 学芸員

学芸員の資格を取得するには、博物館法施行規則に基づいて本学が定めた所定の単位を修得する必要があります。

学芸員として就職する際には、本学が発行する学芸員の資格認定に関する科目の単位修得証明書を任命権者（都道府県及び市町村の教育委員会等、博物館の管理機関）に提出する必要があります。

なお、本学における学芸員の資格取得のための履修は、原則学部学生を対象としています。ただし、履修人数に余裕がある場合などに限っては、大学院生も履修できることがあります。

博物館実習の履修受入可能人数は20名前後です。希望者は履修する前年度の12月に開催されるガイダンスに出席してください。

学芸員の資格を取得するための履修科目

	博物館施行規則に定める科目	単位数	本学における開講科目	単位数
必修科目	生涯学習概論	2	生涯学習概論	2
	博物館概論	2	博物館概論	2
	博物館経営論	2	博物館経営論	2
	博物館資料論	2	博物館資料論	2
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2
	博物館展示論	2	博物館展示論	2
	博物館教育論	2	博物館教育論	2
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2
	博物館実習	3	博物館実習	3
	計	19	計	19
選択科目	文化史	左記系列の中より2系列以上にわたって8単位以上を選択履修すること。	文化人類学特殊講義	2
			民族誌学特殊講義	2
			日本史概説	2
			日本文化史概論	2
			アジア史概説	2
			西洋史概説	2
			日本古典文学史論（上代）	2
			日本古典文学史論（中古）	2
			日本古典文学史論（中世）	2
			日本古典文学史論（近世）	2
			日本近代文学史論（近代）	2
			日本近代文学史論（現代）	2
			比較生活文化史Ⅰ(1),(2)	各1
			比較生活文化史Ⅱ(1),(2)	各1
	美術史		歴史情報学	2
			文化情報学	2
			美術史学特殊講義Ⅰ～Ⅲ	} 各4
			美術史学演習Ⅰ～Ⅲ	
			形象分析学特殊講義Ⅰ～Ⅲ	
			形象分析学演習Ⅰ～Ⅲ	
	考古学		西洋美術史AⅠ～AⅢ、BⅠ～BⅢ	} 各2
			東洋美術史AⅠ～AⅢ、BⅠ～BⅢ	
			工芸史	2
			生活造形史	2
			考古学通論Ⅰ	2
			考古学通論Ⅱ	2

	博物館施行規則に定める科目	単位数	本学における開講科目	単位数
選 択 科 目	民 俗 学	左記系列の中より2系列以上にわたって8単位以上を選択履修すること。	民俗学	2
			服飾史論 (1),(2)	各 1
			服飾史資料論 (1),(2)	各 1
			服飾史Ⅰ(1),(2)	各 1
			服飾史Ⅱ(1),(2)	各 1
			民俗文化史論 (1),(2)	各 1
			民俗文化史各論	2
			歴史民俗文化論 (1),(2)	各 1
	物 理 学		物理学概論 A	2
			物理学概論 B	2
			古典力学 (1),(2)	各 1
			電磁気学Ⅰ (1),(2)	各 1
	化 学		基礎化学A	2
			基礎化学B (1),(2)	各 1
			無機化学Ⅰ	2
			有機化学Ⅰ	2
	生 物 学		基礎生物学A	2
			基礎生物学B	2
			動物系統学	2
			植物系統学	2
	地 学		宇宙・地球科学	2
			大気・海洋科学概論	2
			地史・古生物学概論	2
			地球環境科学	2
			地理情報学	2
			自然地理学	2

3 日本語教員

日本語を母語としてではなく、第二言語として学ぶ人、例えば外国籍の人などに日本語を教える教員が、日本語教員です。社会のグローバル化の進展にともない、国内外で日本語を教える日本語教員のニーズは高まっており、日本の言語文化を教えることはもちろん、グローバル化した社会に生きる市民性を育む役割にも期待が寄せられています。

本課程の修了には、文化審議会国語審査会（2019年3月4日）の『日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）改定版』で示された「必須の教育内容」50項目すべてを修得し、合計26単位以上を取得する必要があります。その際、学部日本語教育副プログラムの科目を履修し、大学院科目との合算により50項目を修得することも可能です（学部科目は大学院の修了単位には数えられません）。本課程修了者には、学生からの申請に基づき、課程を修了したことの証明書を発行します。ただし、この証明書は、国家資格や教員免許を表すものではありませんので、注意してください。

※日本語教員は、令和6年4月に国家資格化され「登録日本語教員」となりました。「登録日本語教員」となることで、文部科学大臣によって認定された「登録日本語教育機関」で日本語指導ができるようになります。国家資格取得のためには、指定試験機関が実施する「日本語教員試験」の合格、「登録実践研修機関」が実施する「実践研修」の修了が必要となります。本学の課程は、「登録日本語教員の資格取得に係る経過措置における日本語教員養成課程等の確認」において、【Cルート】「必須の教育内容50項目に対応した日本語教員養成課程等」として認められています。これにより、本課程を修了することで、「日本語教員試験」の一部、そして「実践研修」が免除されます。本学課程の実施状況や履修科目、履修方法等の詳細に関しては、学務課から出される情報、もしくは日本語教育コースで確認してください。

開講科目一覧

科目名	単位数
言語教育学特論	2
言語教育学演習	2
異文化間教育特論	2
異文化間教育演習	2
異文化間コミュニケーション特論	2
異文化間コミュニケーション演習	2
社会言語学研究特論	2
社会言語学研究演習	2
応用日本言語学特論(1)	1
応用日本言語学特論(2)	1
応用日本言語学演習(1)	1
応用日本言語学演習(2)	1
応用日本言語学研究法実習	2
言語習得・教育特論(1)	1
言語習得・教育特論(2)	1
言語習得・教育演習(1)	1
言語習得・教育演習(2)	1
言語学習論特論	2
言語学習論演習	2
日本語習得論特論	2
日本語習得論演習	2
日本語教育学特論	2
日本語教育学演習	2
日本語コミュニケーション特論	2
日本語コミュニケーション演習	2
日本語教育実習（教育実習）	2

※ 「教育実習」科目の履修希望者は、実習を行うための基礎的な知識や技能が学習・修得済みであることを確認します。
詳細はシラバスや日本語教育コース HP で確認してください。隔年開講の科目もありますので、この点に留意して履修計画を立ててください。

4 専門社会調査士

専門社会調査士とは、一般社団法人社会調査協会が認定・発行する資格であり、高度な調査能力を身につけたより専門性の高い社会調査士であることを証明するものです。本大学院では、博士前期課程の人間発達科学専攻、ジェンダー社会科学専攻が共同で対応カリキュラムを組織しています。

専門社会調査士の資格を取得するには、学部レベルでの資格である社会調査士資格を保有し、社会調査協会が定める標準カリキュラム H、I、J に対応するものとして認定された所定の科目を修得し、社会調査結果を用いた修士論文（研究論文）を執筆して博士前期課程を修了する必要があります。社会調査士と専門社会調査士は同時に取得することもできます。

資格取得を希望する学生は早くから計画的に履修する必要があります。具体的な標準カリキュラム対応科目は年度ごとに異なり、隔年開講の科目もあるので注意してください。詳細は社会調査士連絡責任者にお問い合わせください。

なお、学部レベルの社会調査士資格を同時に取得する場合には、学部の科目等履修生となって学部開講の認定科目を 10 単位修得する必要があります。科目等履修生の出願時期が限られているので早くからよく調べて計画してください。また、資格取得の目的で学部の科目等履修生となる場合には入学金と授業料の免除措置がありますので是非ご活用ください。

専門社会調査士資格取得のための標準カリキュラムと本学での必要単位数

標準カリキュラム	本学での必要単位数
H 調査企画・設計に関する演習（実習）科目	2 単位
I 多変量解析に関する演習（実習）科目	2 単位
J 質的調査法に関する演習（実習）科目	2 単位

5 臨床心理士

臨床心理士資格は、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の資格試験合格によって得られます。発達臨床心理学コースは、2001年度より、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の定める第1種指定大学院となっています。当コース所属の学生は、表に示す必修科目（本学における開講科目10科目）の16単位すべておよび、選択必修科目群（ABCDE群）からそれぞれ2単位以上で計10単位以上、合わせて26単位以上を修得して前期課程を修了することで、臨床心理士資格試験の受験資格が得られます。

なお、他コースの学生が履修できるのは、ABCD群の科目のみとなります。

科目区分	資格認定協会科目	本学における開講科目	単位数
必修	臨床心理学特論	臨床心理学特論Ⅰ	2
必修	臨床心理学特論	臨床心理学特論Ⅱ	2
必修	臨床心理面接特論	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2
必修	臨床心理面接特論	臨床心理面接特論Ⅱ	2
必修	臨床心理査定演習	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
必修	臨床心理査定演習	臨床心理査定演習Ⅱ	2
必修	臨床心理基礎実習	臨床心理基礎実習Ⅰ	1
必修	臨床心理基礎実習	臨床心理基礎実習Ⅱ	1
必修	臨床心理実習	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	1
必修	臨床心理実習	臨床心理実習Ⅱ	1
選択必修A群	心理学研究法特論	人間発達科学論	2
選択必修A群	臨床心理学研究法特論	臨床心理学研究法	2
選択必修B群	認知心理学特論	認知・行動心理学特論	2
選択必修B群	発達心理学特論	発達臨床心理学特論	2
選択必修C群	家族心理学特論	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2
選択必修C群	犯罪心理学特論	司法・犯罪臨床心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
選択必修D群	障害者（児）心理学特論	障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
選択必修D群	心身医学特論	医療心理学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2
選択必修E群	心理療法特論	心理療法特論	2
選択必修E群	心理療法特論	心理療法特論：応用	2

6 公認心理師

公認心理師資格は、公認心理師国家試験合格によって得られます。発達臨床心理学コースは、2018年度より、公認心理師受験資格に対応するプログラムを設置しています。当コースに所属している学生は、入学前に学部で所定の公認心理師科目の単位を修得した上で、入学後に表に示す科目のすべてを修得して前期課程を修了することで、公認心理師試験の受験資格が得られます。

科目区分	公認心理師法施行規則第2条に定められた科目	本学における開講科目	単位数
1	保健医療分野に関する理論と支援の展開	医療心理学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2
2	福祉分野に関する理論と支援の展開	障害臨床心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
3	教育分野に関する理論と支援の展開	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
4	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	司法・犯罪臨床心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
5	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・労働臨床心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2
6	心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
7	心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	2
8	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2
9	心の健康教育に関する理論と実践	心の健康教育（心の健康教育に関する理論と実践）	2
10	心理実践実習	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）	1
		臨床心理特別実習Ⅰ（心理実践実習）	4
		臨床心理特別実習Ⅱ（心理実践実習）	4
		臨床心理特別実習Ⅲ（心理実践実習）	4

Ⅲ

諸資格の取得

7 資格取得を目的とした科目履修

教育職員免許状、学芸員、社会調査士、建築士の資格取得を目的として、大学院博士前期課程、博士後期課程の学生が学部の科目、もしくは博士後期課程の学生が博士前期課程の科目を「科目等履修生」として履修することができます。この場合、科目等履修生となるための入学料と授業料は免除されます。

ただし、履修には上限があり、すべての学部・専攻での履修単位を合計して一年度に20単位までとなっています。また、授業科目によっては収容人員・形態等の都合で履修を認めない科目もあります。出願方法等の詳細については「科目等履修生出願要項」を参照してください。

※科目等履修生出願要項は学生ポータルサイトに掲載されていますので、ダウンロードして申請してください。

《キャリアデザインプログラム科目群》

「より良い未来の創造に向けた変革を起こすグローバル女性リーダーの育成」を大きな目標とする本学では、コンピテンシーの育成に力を入れています。コンピテンシーとは、社会的な場において実質的な成果を上げる資質の総称で、本学では女性リーダーとして社会で成果を上げられるような力を教養教育、専門教育、課外活動などを含めた大学生活全体で養ってほしいと考えています。

学部の教育課程に設置されているキャリアデザインプログラム科目群は、グローバルに活躍する女性リーダーに必要な知識や力、すなわち進路選択や女性のキャリアに関する知識、実社会での課題を深く考え解決する力、リーダーシップの涵養を目指しています。キャリアデザインプログラム科目群は、大学院生が学部の科目等履修生として単位を取得することも可能です。その場合、科目等履修生となるための入学料と授業料は、免除されます。